



アドリアティック・カレッジの同級生と

高校時代のあの生々しいぐらいの原体験が、私の中に強く根付いている。多くの学生が同様の体験ができれば、世界は変わると思う。そして、日本は強さを取り戻せると思う。そのためには微力ながらできる限りのサポートをしていきたいと思う。

夢だ。世界はこれから一〇年、さらに大きく変化すると思う。世の中に変化がある時代に、私たちのようなベンチャー企業にはチャンスがある。変化を先読みしながら、今まで存在しなかった事業を立ち上げ、世界中で商売をし、当社を世界企業へと昇華させていきたい。それが私の夢だ。

### 🌟 起業体験を通じて

私は大学四年のときから、企業の立ち上げに関与してきた。当社は、私が立ち上げ

夜な夜な語り合う。いつしか、こういう語り合いが日課のようになっていた。自らをさらけ出すことができれば、国や文化の違いを超え、人間同士で腹を割った関係ができる。世界中のどこに行っても、そう生きることができると。そういつた確信もいたものを勝手に得て、二年間の生活を終えて帰国した。

た二つ目の企業だ。社員の持つさまざまな価値観を許容しながら、組織を一つに束ねて、一つの目標に向かって一丸となって邁進する。事業の立ち上げには、さまざまな苦難も伴うが、リスクを取りながらチャレンジし、高い目標に到達した時には、何にも代え難い喜びがある。

世界はこれから一〇年、さらに大きく変化すると思う。世の中に変化がある時代に、私たちのようなベンチャー企業にはチャンスがある。変化を先読みしながら、今まで存在しなかった事業を立ち上げ、世界中で商売をし、当社を世界企業へと昇華させていきたい。それが私の夢だ。

# 経済広報

5 月号

定価 315円 (税込)

財団法人 経済広報センター

TEL: 03-3201-1412

FAX: 03-3201-1404

E-mail: keizaikoho@kcc.or.jp

特集  
CSRと広報

コーポレートブランドとCSR 伊藤邦雄 一橋大学大学院 商学研究科 教授  
2004年度版は「CSR」「社会・環境」との名称が増加～CSRレポート展を開催～  
CSRレポートを通じた社会とのコミュニケーション  
～事例研究・富士写真フイルム、日産、リコー～  
CSRレポートを読むポイント 後藤敏彦 環境監査研究会・NSC 代表幹事

業界団体の  
広報課題を聞く

北川理一郎  
日本電機工業会 企画部長

アングル

大沢 賢  
東京新聞 論説委員

# 自らをさらけ出すことが

## できれば

ネットプライス社長兼CEO

佐藤輝英

さとう てるひで

一九九一〜九三年UWCアドリアティック・カレッジ(イタリア)留学。  
九七年慶應義塾大学総合政策学部卒。ソフトバンク入社、サイバーキヤ  
ッシュ(現ペリトランス)出向。二〇〇〇年ギガフロップス取締役就任。  
ネットプライス社長兼CEO就任(現任)。〇五年クーコム取締役就任(現  
任)。日本経団連入会。



### 世界を飛び交うインターネット

いつも通りに深夜までオフィスで仕事を  
していると、ポーン!と一通のメールが届  
く。英語の件名でしかも添付ファイルまで  
付いているので、一瞬、新手的ウィルスか  
と思うと、それはUWC時代の悪友からの  
ジョークメールだった(笑)。一人にやにや  
しながら、返事を書く。

今、私は、インターネットで商品やサー  
ビスを販売する企業「株式会社ネットプラ  
イス」を経営している。社員は総勢一七〇  
人。創業は今から五年前。この五年間、素

晴らしい出会いに恵まれ、時の運にも後押  
しされ、昨年東証マザーズに上場し、上場  
企業の仲間入りをすることができた。

UWC滞在時に学んだこと。それは、「自  
ら発信すること」と、「さまざまな価値観  
を許容すること」の大切さだと思う。

### 目の前に輝くアドリア海

一九九一年の夏。私はイタリア北部の  
Dunoという小さな村に到着した。さんさ  
んと輝くアドリア海の断崖に立つ寮にて、  
身支度を終え、ティールームに出ると、そ  
こは、小さく凝縮された国際国家があるよ

●(社)ユニテッド・ワールド・カレッジ(UWC)日  
本協会は、世界各国から派遣されてくる生徒たちと  
の教育体験の共有により、国際感覚豊かな人材を養  
成するという理念を掲げるUWCの日本委員会とし  
て、毎年一〇名前後の高校二年生を世界各地にある  
UWC傘下の高校に派遣し、すでに三三八名の卒業  
生を輩出している。

うだった。イタリア人はもとより、エジプ  
ト人、チェコ人、クロアチア人、パラグア  
イ人、ウガンダ人、南アフリカ人……耳に  
するのもはじめての国も多く、強烈なイン  
パクトを受けた。お互い自己紹介をすると、  
発音が難しく覚えられない名前が多く、一  
つ一つカタカナでメモを取ったことを記憶  
している。カルチャーショックどころか、  
これはえらいところに来てしまったなとい  
う感じだった。

### 自らをリセットし、 自ら発信すること

私はこういう人間である、自ら発信し  
ないと誰も振り向いてくれない。文化背景  
が全く違うので、自ら歩み寄っていかないと  
誰も近づいてきてはくれない。そう腹を  
括って、自分をさらけ出して、思い切って  
歩み寄るまでにしばらくの時間を要した。

二年目に入ると大分慣れてきた。仲間と  
ジョークを言い合い、将来についての夢を